

〔科目名〕 地域 ICT 戦略論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目
〔担当者〕 木 暮 祐 一 Yuichi Kogure	〔オフィス・アワー〕 時間:最初の講義で提示 場所:	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 コンピュータやスマートフォンといった情報通信機器やインターネット、通信ネットワークなど、情報通信技術(ICT)の進歩と普及は、私たちの社会生活にはさまざまな利便性をもたらし、またあらゆる産業における効率化に大きく寄与してきた。さらには、こうした ICT が世界的規模で社会経済構造の変化をもたらしている。我が国の場合、政府が重点政策として平成13年1月、内閣に「高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)」を設置して以降、現在に至るまで ICT 関連政策を打ち出しインフラ整備や法整備、利活用推進を行ってきた。内閣府は重点的に取り組むべき施策として Society 5.0 の具体化を掲げている。ICT は地域の課題解決にも大きく貢献しており、地域レベルでもさまざまな ICT 利活用の取り組みが見られ、地域社会の発展の一助となっている。 本講義では、こうしたICT動向についてその背景や目的などの理解を深めると共に、ICTの利活用が産業や社会にどのような発展をもたらしているか、さらに地域での利活用でどのような成果を出せるのかなどを学んでいく。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 本講義は、内外の最新ICT動向や、その地域における利活用事例などを中心に、ICT の普及が社会にもたらしてきたことや、ICT をどのように活用すべきなのかを理解していくことを目的としている。コンピュータやスマートフォン、それらの上で利用されるインターネットなど、現代において ICT の利活用は不可欠となっている。さらに最近ではIoTに総称される各種センサーデバイスやウェアラブル端末、ロボット、ドローン、そして AI(人工知能)等の利活用など、新たな手法も見受けられるようになってきた。ICT はあくまで手段である。しかし ICT を理解していなければ実社会で使いこなせない。ICT は進化・変化が早くこうした動向を理解し、それらをどのように活かしていくかを理解しておくことは、今後社会に出てから様々な場面で役立てることができるはずである。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ICT は、あらゆる産業に深く関わりを持っており、あらゆる分野で業務を遂行するのに欠かせない「手段」となっている。そこで講義前半は、主要産業別にどのような ICT の利活用が求められ、それに関わる政策が打ち出され、その結果どのような成果を出しているのかを理解する。後半は、内外の最新 ICT 事情などを知ること、戦略的に ICT 利活用を展望できる知識を身につけていただきたい。また地域の活性化という視点で、ICT で何ができるのか提案できる素養を身につけてもらいたい。地域社会で活躍しようとしている皆さんに対し、地域社会活性化のためにICTを応用できる知識も提示していきたい。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 これまでの講義では、理論の部分の解説が多かったが、今後は積極的に事例を盛り込み、理解しやすくするための工夫をしていく。		
〔教科書〕 とくに指定しない。講義にはスライドを使い、スライドのデータや必要な資料はPDF形式にて配布する。		
〔指定図書〕 講義の中で必要に応じて案内する。		
〔参考書〕 講義の中で必要に応じて案内する。		
〔前提科目〕 地域 ICT 基礎論を履修していること。		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験(またはレポート)で評価する。また講義内で小テストや小レポートも課す。期末試験で評価することを基本とし、講義内小テスト等は理解度の参考とする。	
〔評価の基準及びスケール〕 各講義で展開した内容を理解しているかどうかが評価ポイントとなる。十分に理解できているとした評価で「C」、さらに独自の視点を持てていれば「B」、とくに優れた成果と評価した場合「A」とする。基準を満たせなければ「C」以下の評価となる。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 担当教員は、これまで ICT 業界に携わり、また客観的な視点から国内各業界の ICT 利活用、とくにモバイルなどの通信技術の活用に関する知見を広めてきた。こうした経験や知識を講義に展開していきたい。講義では、学生諸君の身近な ICT(たとえばスマートフォンなど)を事例に話題を展開し、理解を深められるよう工夫する。ICT の活用について関心を高めていただくきっかけとなる講義を目指したい。また、日頃からコンピュータや各種情報端末、インターネットなどの使いこなしができていると、講義を一層理解しやすくなる。	
〔実務経歴〕 マスコミ、および情報通信業での実務経験を活かし、情報通信技術の進展と情報通信ネットワークの普及によって起こっている社会の変化について理解を深め、それらを地域で役立てるための基礎力を養い、また社会人になった際にそれら知識を実践的に活かせる講義を目指す。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): ICT をめぐる全般的概況について 内 容: 情報通信技術(ICT)の理解、情報通信産業の理解、情報通信産業と他産業との位置づけ、進化が著しい ICT 動向における最新の全般的概況について理解する 教科書・指定図書 資料配布予定
第2回	テーマ(何を学ぶか): 政府の ICT 関連政策の動向、地方創生政策と ICT 内 容: 政府の各政策の目的や成果について理解する。とくに第二次安倍内閣では地方創生を重要なテーマに掲げて政策を進めているが、その中でも ICT の利活用に重きが置かれている。地方の活性化に ICT がどのような役割を果たすか、そしてどんな未来を目指しているのかを解説する(Society 5.0 など)。 教科書・指定図書 資料配布予定
第3回	テーマ(何を学ぶか): ICT による就労・労働環境の変化 内 容: ネットワークの利活用が日常化した現在、私たちのワークスタイルも大きく変化してきた。就労・労働環境に ICT がどのような影響をもたらしたかを理解する。現在、政府が「働き方改革」を提唱しているが、そこに ICT をどのように活用するのかを考える。 教科書・指定図書 資料配布予定
第4回	テーマ(何を学ぶか): ICT と教育・サービス産業 内 容: 教育分野における ICT 利活用について、世界の主要国の事情を紹介する。また ICT の普及によって私たちはより深い情報リテラシーが求められてきている。現代社会においてどのような情報リテラシーが求められるのかを考える。 教科書・指定図書 資料配布予定
第5回	テーマ(何を学ぶか): ICT と医療・福祉・健康産業 内 容: 医療・福祉・健康産業分野における ICT 利活用は重点政策となっているが、これらを今後普及させるための鍵となる法整備などの問題について論じる。遠隔医療や救命救急分野での活用についても触れる。とくに遠隔医療は中国などで先行事例が見られるが、一方でわが国では進展しない理由を考える。 教科書・指定図書 資料配布予定
第6回	テーマ(何を学ぶか): モバイルマーケティング、ウェブマーケティング(O2O～OMO) 内 容: 常に手のひらにあるスマートフォン等のモバイル機器の有用性を考える。とくにソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)を活用した、マーケティングやブランディングの事例、顧客を企業や店舗に誘導(O2O)する具体事例、その周辺の技術、最新サービス動向を理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第7回	テーマ(何を学ぶか): DX(デジタルトランスフォーメーション) 内 容: デジタイゼーションからデジタルトランスフォーメーションへ考え方をシフトし、社会を変革させていく必要がある。事例をもとに、デジタルトランスフォーメーションの考え方を理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定

第8回	テーマ(何を学ぶか): ポストモバイル、ウェアラブルとIoT (Internet of Things) 内 容: モバイルの普及に加え、さらに身体に密着させて活用する「ウェアラブル端末」や、単体でインターネットにつながり情報利活用を行う「IoT (Internet of Things、モノのインターネット)」を理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第9回	テーマ(何を学ぶか): 位置情報衛星(GPS、QZSS)の活用 内 容: これまで使われてきた GPS に加え、わが国独自の位置情報衛星(準天頂衛星)が稼働を始めている。これらの位置情報を活用することで、地域でどのような応用が可能になるのかを解説する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第10回	テーマ(何を学ぶか): ロボットとAI(人工知能) 内 容: 人型ロボット「Pepper」の一般販売開始、そして AI(人工知能)技術の応用など、ICT 利活用は大きく進化が進んできている。それらの動向を理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第11回	テーマ(何を学ぶか): ドローンの利活用とその先に起こること 内 容: ドローン(無人航空機)は、空撮だけにとどまらず、測量や農業 ICT、救命救急分野など、様々な活用が期待されている。さらに近い将来には新たな空の移動手段として人の移動にも利用されるとされる。それらの動向を解説する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第12回	テーマ(何を学ぶか): 自動運転技術の展望 MaaS 内 容: 2016年1月15日以降、わが国でも自動追尾、自動ハンドルなどの自動運転機能の一部が公道で利用可能になっている。自動運転技術の動向とその応用、地方での利活用について論じる。 教科書・指定図書 資料配布予定
第13回	テーマ(何を学ぶか): ICTの地域での活用事例(1) 内 容: 地域振興や観光客誘致など、さまざまなところで ICT を活用した取り組みが見られるようになった。まず地域での ICT 利活用の基本的手技について理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第14回	テーマ(何を学ぶか): ICTの地域での活用事例(2) 内 容: 地域での ICT 利活用事例を紹介する。 教科書・指定図書 資料配布予定
第15回	テーマ(何を学ぶか): 今後のICT戦略と技術展望 内 容: ICTの利活用は今後も発展と普及が期待される。とくに 2020 年に向けてわが国ではどのような ICT 環境を目指しているのか、どのような課題が見受けられるかを理解する。 教科書・指定図書 資料配布予定
試 験	期末試験を実施する(受講者の人数によってはレポートに変更する場合がある)。